

2021 年九州自転車競技選手権大会

＜九州地域自転車競技大会＞

＜テクニカルガイド＞

Ver.2021-0708-2



主催 九州自転車競技連盟
後援 (公財) 日本自転車競技連盟
(公財) J K A
主管 大分県自転車競技連盟
協力 (一社) 熊本県自転車競技連盟
協賛 HSR 九州/交通教育センターレインボー熊本
クレーマージャパン



＜競輪補助事業＞

この事業は競輪の補助を受けて開催します。
<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>



1 会場

(1)トラック競技会場

別府競輪場

〒874-0021 大分県別府市亀川東町 1-36 TEL : 0977-66-0796



(2) ロード競技会場

HSR九州／交通教育センターレインボー熊本

〒869-1231 熊本県菊池郡大津町平川 1500 TEL : 096-293-1370



2 日程

期日	時間	スケジュール	備考
7/10 (土)	8:00	指定練習(~8:45) 各班 20 分間	1 班(大分・佐賀・長崎・鹿児島・沖縄) 2 班(福岡・熊本・宮崎)
	8:00	ライセンスコントロール(トラック)	別府競輪場敢闘門(バックストレッチ側)
	9:00	代表者会議	旧事務所 2F
	9:45	トラック競技(1日目)	別府競輪場
	16:00	表彰式(予定)	
7/11 (日)	08:00	指定練習(~9:10) 各班 20 分間	1 班(福岡・熊本・宮崎) 2 班(大分・佐賀・長崎・鹿児島・沖縄) 3 班女子、マスターズ、中学生
	08:00	ライセンスコントロール(トラック)	別府競輪場敢闘門(バックストレッチ側)
	09:00	代表者会議②	旧事務所 2F
	9:45	トラック競技(2日目)	別府競輪場
	15:30	表彰式(予定)	
7/12 (月)	7:30	ライセンスコントロール(ロード)	HSR サーキットコース管理棟 1F エントランス
	7:40	試走(~8:10)	HSR サーキットコース
	8:00	代表者会議	HSR サーキット管理棟 2F 会議室
	8:30	ロード競技(2.3km×10 周)	男子中学生、女子中学生、女子マスターズ、女子成年/少年
	9:20	ロード競技(2.3km×30 周)	男子マスターズ、成年、少年
	11:30	表彰式	屋外セレモニーエリア

3 受付

(1) 選手・監督受付

2021 年有効のライセンスを持参すること。個人参加以外は、県、チーム毎に受付に提出すること。

ライセンス不携帯の際は、参加料(エントリー料)の 50%相当をペナルティとして徴収する。

(2) 配付物

①大会パンフレット	選手 1 名につき 1 部 (大会前日までの情報を反映させたスタートリスト 1set)		
②ゼッケン	カテゴリー	ロード	トラック
	成年男子	白地×黒文字	白地×黒文字
	成年・少年女子	白地×赤文字	白地×赤文字
	少年男子	黄地×黒文字	黄地×黒文字
	マスターズ男子	緑地×黒文字	緑地×黒文字
	マスターズ女子	緑地×赤文字	緑地×赤文字
	中学生男子	青地×黒文字	青地×黒文字
③ヘルメットシール	ゼッケンと同色のシール (ロードのみ)		
④計測チップ	<ul style="list-style-type: none"> ・受付時に配布するモータースポーツ用のトランスポンダを使用する。自転車用に比べて大きいので、サドル下にタイラップにて確実に固定すること。 ・レース終了後、直ちに返却すること。紛失の際は実費(30,000 円)を請求する。 		

- (3) 選手変更・欠場申請、引率責任者・監督・チームサポート変更申請、プログラム記載事項訂正申請、その他申請については、受付（ライセンスコントロール）時に書面で提出すること。

4 代表者会議

代表者会議①	令和3年7月10日（土） 9:00～	別府競輪場旧事務所 2F
代表者会議②	令和3年7月11日（日） 8:30～	別府競輪場旧事務所 2F
代表者会議③	令和3年7月12日（月） 7:30～	HSR九州サーキットコース管理棟 2F 会議室

5 開会式・閉会式

開会式は実施しないが、ロード競技スタート前（08:25～）に開会セレモニーを行う。三密を避け、可能な限りフィジカルディスタンスを確保した上で集合のこと。なお、閉会式については実施しない。

6 表彰式

- ロード競技 11:30～（予定） 場所：管理棟前セレモニーエリア
- トラック競技 各日の全レース終了後を予定しているが、密集回避の観点により本部にて手渡しのみもあり。後日案内する。※以下（3）（4）については、セレモニー実施の際の内容。
- 表彰を受ける選手は5分前には集合・待機し、係の誘導を聞くこと。
1～6位（8位）まで表彰するが、1～3位までの選手の集合が完了した段階でセレモニーを始める。
欠席した場合、その着位は「空位」として取り扱い、セレモニーを行う。
- 服装は、原則「登録されたユニフォーム」とする。

7 ロード会場（HSR九州）

- 駐車場について
 - 代表者会議で配布する、駐車証（共通）をダッシュボードの見える場所に置き、出来る限り間隔をあけて駐車すること。
 - 指定した場所以外や通行の妨げになる場所への駐車厳禁とする。
 - 緊急車両を除き、コース内への車両の乗り入れは禁止する。
 - 敷地内の車両の移動については、周囲への安全に配慮し「徐行」すること。
- コース試走について
 - 試走時間について 7/12（月）07:40～08:20に設定。これ以外は、前日も含めて、コースの試走は出来ない。
 - 試走中の事故、トラブル、紛失等、また、選手間の接触・落車等による機材の破損については、レース中の事故と同じ扱いとし、主催者は賠償等の責任を負わない。

8 トラック会場（別府競輪場）

- 駐車場について
第10駐車場を利用すること。選手管理（検車場）側への駐車は、予め指定を受けた役員車両以外は厳禁とする。
- 荷物の積み降ろしについて（荷物を降ろしたら第10駐車場へ移動）

7/10（土）	6:30～8:30	別府競輪場選手宿舎前駐車場
7/11（日）	～ 8:30	別府競輪場選手宿舎前駐車場
7/12（月）	14:30～16:30	別府競輪場選手宿舎前駐車場

上記の時間以外の車両の移動は制限されるので注意すること。変更がある際は、コミュニケにて案内する。

(3) 別府競輪場の施設・敷地内利用について

- ①大会期間中は、場外発売が行われているため、立入禁止区域には、絶対に入らないこと。
※ホームストレッチ側の特別観覧席の利用は出来ません（競輪の場外発売専用）ので関係者へ案内のこと。
- ②別府競輪場第4スタンド(1コーナー)を開放する。区割りは行わないので、譲りあって使用すること。
- ③競輪場内のコンセントの使用は厳禁とする。コンプレッサー使用時の発電機の使用は認めるが注意を払うこと。
- ④女子の更衣については、旧事務所 1F 更衣室の利用ができる。
- ⑤競輪場内に張り出すチーム応援横断幕、のぼり旗等は、2-3 コーナーのフェンス外側に限定する。観戦の妨げにならないよう配慮すること。
- ⑥場内に設置されているゴミ箱は使用しないこと。ゴミ等は各自各校にて持ち帰ること。
- ⑦屋外ローラー場の使用は認めるが管理棟 1F にあるローラー場の利用は厳禁とする。
- ⑧喫煙は管理棟前・敢闘門付近(灰皿設置)のみとする。

(4) 自転車の保管について

自転車の保管については、検車場(管理棟 1F)を開放するが、紛失、破損、事故等の責任は負わない。
 また、備え付けの備品等には一切手を触れないこと。また、ごみ等も必ず持ち帰ること。また、自転車整備も禁止。

(5) 指定練習について

期日	時間	グループ	備考
7/10 (土)	08:00~08:20	指定練習 A 班	鹿児島、大分、沖縄、佐賀、長崎
	08:25~08:45	指定練習 B 班	福岡、熊本、宮崎
7/11 (日)	08:00~08:20	指定練習 B 班	福岡、熊本、宮崎
	08:25~08:45	指定練習 A 班	鹿児島、大分、沖縄、佐賀、長崎
	08:50~09:10	指定練習 C 班	女子、マスターズ、中学生

- ② チーム関係者が選手の安全管理を責任をもって行うこと。
- ②入退場については、バック側に限定する。役員の指示に従って移動し、走路に入る際はアップシューズとする。
 ※指定練習の時間は入れ替え時間を含む。

(6) 接触・落車等による機材の破損については、レース中の事故と同じ扱いとし、主催者は賠償等の責任は負わない。

9 AD カード

今大会に参加する役員、選手ほか関係者は、常時 AD カードを身に付けなければならない。AD カード下部にはライセンスまたは、身分を証明するものを入れておくこと。正面スタンド前フェンスより規制エリアとする。

監督・選手	競技役員	大会役員	大会関係者	ニュートラル
 監督・選手 <small>※監督・選手は必ずライセンスを入れて下さい。</small> <small>大分県自転車競技連盟</small>	 競技役員 <small>大分県自転車競技連盟</small>	 大会役員 <small>大分県自転車競技連盟</small>	 大会関係者 <small>大分県自転車競技連盟</small>	 NEUTRAL STAFF

10 宿泊・弁当 関係

- (1) 貴重品管理は各校（各自）の責任とする。
- (2) 宿舎内の備品・器物の破損や紛失がないよう、十分注意すること。宿舎から注意事項がある際は遵守のこと。
- (3) 宿舎内は、レーサーシューズでの歩行は禁止する。
- (4) ホテル内では常に整理整頓を心掛け、自転車整備や、部屋への自転車の持ち込みは禁止する。
- (5) 宿泊施設により、駐車場代が発生する場合がある。
- (6) 変更等がある際は、必ず連絡すること。大会期間中は、大会本部へ変更内容を連絡すること。
- (7) 弁当配布について

＜ロード会場＞ 10:30～ 管理棟 1F エントランス 名鉄観光サービス（株）ブース

＜トラック会場＞ 11:00～ 敢闘門付近 名鉄観光サービス（株）ブース

＜指定エージェント＞

名鉄観光サービス（株）熊本支店

〒860-0803 熊本市中央区新市街 11-18 熊本第一生命ビルディング 7F

TEL : 096-354-4351 FAX : 096-354-4359 担当 : 櫻木

＜大会本部＞

大分県自転車競技連盟 事務局 携帯 090-9591-9457

11 交通規則の遵守について

所在地から会場への移動、宿舎と会場間の往復等は、常に交通規則を遵守するとともに、ロードバイクで移動する際は、必ずヘルメットを着用すること。監督、チーム関係者は責任を持って指導すること。

12 荷物輸送について

- (1) 荷物を送る際は、事前に宿舎と調整すること。競技会場（トラック・ロード会場共に）での、荷物の受け取りは行わない。
- (2) 競技終了後の荷送り、荷物の引き渡しは当事者間で直接行うこと。大会本部では対応しない。

13 お問い合わせ

大会本部（大会期間中） TEL: 090-9591-9457

■ 大会特別規則 <共通事項>

1 大会名 2021年九州地域自転車競技大会 ロードレース・トラックレース

JCF 競技規則 2021 年版、実施要項、および本大会特別規則により実施する。本大会の特別規則は「2020 年九州地域自転車競技大会」のための特別規則であり、他の競技大会に適用されたり、先例となるものではない。

2 競技日程

2021 年 7 月 10 日（土）より、初日～2 日目をトラックレース、3 日目をロードレースとする。

3 大会本部

トラック会場：別府競輪場メインスタンド 1F 下審判室

ロード会場：HSR 九州 サーキットコース 管理棟 3F

両会場とも競技日程に記載される公式イベント開始 1 時間前から、イベント終了 1 時間後の間設置する。

4 コミッセル・パネル

競技運営委員長	中田 将次	(一社) 熊本県自転車競技連盟 理事長
総務委員長	橋本 文一	大分県自転車競技連盟 常務理事
審判長	塚崎 邦嗣	大分県自転車競技連盟 常務理事

5 参加資格

実施要項 (ver.2021-0707) ※以下、実施要項 4 参加資格、8 参加制限による。

6 参加申込

実施要項 10 参加申込による。

7 競技者 (監督) 受付・登録

実施要項、競技日程の時間内に、ライセンスコントロールを受けること。2021 年有効のライセンスの提示、参加に係る誓約書の提出を条件にゼッケンを配布する。個人参加以外は、県、チーム毎に受付に提出すること。

ライセンス不携帯の際は、参加料 (エントリー料) の 50% 相当をペナルティとして徴収する。

8 実施種目

実施要項 6 実施種目に準ずる。

9 使用機材

公益財団法人日本自転車競技連盟競技規則 2020 年版に準ずる。

① ヘルメット

JCF 公認ヘルメット、もしくは JKA 認定品 (競輪用) とする。エアロヘルメットは T T 系種目のみ使用可能 (競走系種目、練習では使用不可) 破損、ひび割れ、公認シールのないものは使用できない。

トラックの競走系種目で使用するヘルメットは NO キャップが装着できるヘルメットとする。

② 自転車

チーム (競技者・監督・メカニシャン) の責任で競技規則 規定内に調整の上、参加のこと。

競技規則の例外適用 (身体形態上の理由) の申請は、ロード競技：受付時 トラック競技 指定練習前までとする。

申請は、競技者が使用する自転車と共に審判長まで申し出ること。(書類は不要)

ギア比：中学生は、競技規則のある U17 推奨値を上限とする。

10 ユニフォーム (ジャージ・パンツ)

所属するチームの登録されたユニフォームを着用すること。高体連加盟のチームは、登録されたユニフォームを着用すること。県対抗で実施する種目 (特に団体種目) については、登録された県のユニフォームの着用を原則とする。やむを得ず、登録外ユニフォームを着用する際は、監督会議で承認を受けること。

1.1 賞典

実施要項 7 表彰により行う。競技規則第 26 章
表彰対象者は、登録ユニフォームで出席すること。

1.2 救急措置（医務救護体制）

競技中の負傷疾病について、現場における応急措置を用意するが、以後の措置については参加者自身の責任によって行うこと。
大会本部に医務・救護所を設置する。参加者は健康保険証を必ず持参すること。
参加者は各自でスポーツ安全協会等の保険に加入すること。





近隣医療機関	別府医療センター	〒874-0011 大分県別府市内竈 1473 番地 TEL：0977-67-1111 (代表)
--------	----------	--

1.3 招集

ロード競技：各カテゴリースタート 15 分前まで
出走者自身がサインシートに記入し、装備（自転車、ユニフォーム、ヘルメット）の確認を受けること。
トラック競技：バンク内招集エリア 各競技者の出走予定時刻 15 分前まで

1.4 大会アナウンス（コミュニケの配布・配信）

大会進行は、アナウンスにより行う。また、コミュニケ等の配信については、紙媒体での配布は行わず、下記 SNS にて配信する。

公式 Twitter	公式 ホームページ	公式 facebook	公式 YouTube Live
			

一社）熊本県自転車競技連盟公式 Twitter、公式ホームページ、公式 facebook、公式 YouTube

1.5 個人情報の取り扱い

選手、応援者及び競技役員等の大会参加者の個人情報（画像、映像、音声データ等）については、本大会に帰属するとともに、大会の普及活動に利用する以外の目的に利用することはない。

■ 大会特別規則 <ロードレース>

RR1 コース

HSR九州サーキットコース (2.3km/1周) を左回りで使用する。

RR2 距離

インデイヴィジュアル・ロードレースとして行う。

23.0km (10周) 男子 中学生、女子 マスターズ、女子 成年/少年

69.0km (30周) 男子 マスターズ、男子 少年、男子 成年

※荒天時の距離鉄豆縮等は当日の状況により決定する。

RR3 順位の決定

順位の決定：規定の距離（周回）を完走した競技者の着順により決定する（規則違反を除く）

RR4 スタート

号砲によりスタート、1コーナー過ぎまで先導COMによりニュートラル維持、スタート態勢が整った時点で解除、正式スタートとする。

RR5 随行車両

COM1 (4輪) MOTO1 (2輪)、INFOMOTO (2輪)、SUG1、2 (4輪) 計5台 (予定)

必要により、MEDIAMOTOがかわる。

RR6 ニュートラルエリア

N1、N2、N3、N4エリアに限り、機材交換を認める。※女子も同様

予め登録された者のみコース内への立ち入りを認める（各県6名を基本人数とし、エントリーが多い県には追加でIDを発行する）

コースに入る際は、大会本部発行のIDカード着用のこと。登録された者以外からの機材交換は失格の対象とする。

ニュートラルエリアへの機材搬入等は徒歩にて行うこと。チームカーの随行は認めない。

レース中の随行車両による、ニュートラルサービスは行わない。

RR7 競技からの除外

各カテゴリー毎に、6位の選手を含む集団より、1周遅れた選手は原則レースより除外する。

但し、3位までの選手が含まれる場合はレースの継続を認める（リザルトはマイナス周回で処理する）※女子も同様とする。

競技途中で自ら棄権、失格した選手は、S/F地点の競技役員にその旨を伝え、直ちにコースから離脱すること。

なお、自力で戻る際は、レースの妨げにならないようコース左側を徐行（逆走は禁止）し、本部で計測チップを返却すること。

RR8 フィニッシュ

管理棟前のフィニッシュラインにて最終順位を決定する。

最終周回はコースを周回せず、指定された別路で選手ピットに戻り、速やかにバイクチェックを受けること。

RR9 補給

女子マスターズ、成年/少年、中学生カテゴリーの、飲食物の補給エリアは設置しない。

男子マスターズ、成年、少年カテゴリーについては、11周目～24周目の間、N1エリアのみ飲食物の補給を認める。

RR10 ゼッケン

受付で配布する「ロード用」のゼッケンを使用する。※トラック用とは「NO」が違うので間違えないようにすること。

RR11 遵守義務

コース内での飲食物、ボトル等の投棄を禁止する。飲料・ボトル・衣類等は「N1～N4」エリアの路肩に安全に配慮して置くこと。

また、飲食物の携帯、補給に際して「ガラス製容器」の使用は禁止する。

RR12 バイクチェック・ギヤ比制限（ジュニア、中学生）

男子（カテゴリー毎）上位10名程度、女子は全ての選手に対して、バイクチェック（ジュニア以下はギヤ比）を行う。

フィニッシュ後、役員の誘導に従うこと。

ギヤ比制限は、JCF競技規則を遵守すること。※U17の高校生、中学生競技者もジュニアに準ずる。

レース後のバイクチェックでレギュレーション違反が発覚した際は、失格もしくは降格の対象とする。
フィニッシュ後、上位 10 名程度バイクチェックを実施する。

RR13 自転車

チーム（競技者・監督・メカニシャン）の責任で競技規則の各規定内に調整のうえ、参加のこと。
競技規則の例外適用（身体形態上の理由）の申請は、受付時に申し出ること。
申請は、競技者が使用する自転車と共にチームコミニサルまで申し出ること。（書類は不要）
レース前、レース中に問わず、整備不良と見なされた自転車は、役員の判断により、競技より除外する。

RR14 出走サイン

出走 15 分前までにサインシート（大会本部前）にサインすること。
サインをせず出走した際は競技より除外、失格の対象となる場合がある。

RR15 オンボードカメラ

オンボードカメラは、原則、禁止とする。
但し、機器の固定（ハンドルより下側）が確実であることがチームコミニサルの確認を受けた者を除く。なお、許可を受けた者は、レース後、映像データ（コピー）を主催者に提出し、当該データを編集し再利用することを、承諾することを条件とする。

RR16 無線機

スタッフ、選手間での、無線・遠隔通信機器の使用は、禁止する

RR17 ドローンの飛行

本大会の競技等を撮影する目的のドローンの飛行は、主催者が行う場合を除き認めない。

RR18 賠償責任

主催者は、レース中、試走中の事故等について、予め加入している保険の限度額を超える損害賠償の責任を負わない。
競技者は、本大会の競技及び試走中の事故等に適用される賠償保険及び傷害保険に加入すること。

RR19 計測チップ（トランスポンダ）

計測に使用するトランスポンダの受信状態を点検するので、試走の際は必ずトランスポンダを装着して行くと。

RR20 会場配置図



■ 大会特別規則 <トラックレース>

TR1 全般

競技規則 第 6 3 条、第 6 6 条 9～1 5 項を熟読し遵守すること。

罰則への抵触・違反により、注意・警告・降格・失格を適用する。

大会期間中は種目にかかわらず、すべて累積する。注意 2 回→警告 1 回、警告 2 回→降格・失格、降格 2 回→失格

TR2 電子計時システムの使用

本大会のトラック競技では、光電センサを利用した電気計時を採用する。

計測タイミング時、対象選手以外の者が測定ライン（Finish 線、中央線）を横切ると正確な計時が出来ないため注意すること。

TR3 1km タイムトライアル

400m のトラック 2.5 周で行う。

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から 2 選手同時発送で行う。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

電子計時装置を使用する。

競技時間短縮のため、スターティング・マシンに自転車をセット、準備完了後 15 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

ホーム、バック同時スタートにて実施（プログラムに記載の、スタート/フィニッシュ位置を確認のこと）

フライングがあった選手のみ次の組で再発送、該当しない選手はそのまま続行とする。2 回目は失格とする。

※詳細は、競技規則 P64 第 77 条による。

TR4 500m タイムトライアル

400m のトラック 1 +1/4 周で行う。

スタートはバックストレッチの中央線から単独発送で行い、フィニッシュは 2Ce（3-4 コーナー間）。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

電子計時装置を使用する。

競技時間短縮のため、スターティング・マシンに自転車をセット、準備完了後 15 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

フライングがあった際は直ちに再発送、2 回目は失格とする。

※詳細は、競技規則 P64 第 77 条による。

TR5 インディヴィデュアル・パーシュート（2km、3km、4km）

2km：400m のトラック 5 周、3km：400m のトラック 7.5 周、4km：400m のトラック 10 周で行う。

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から行う。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

電子計時装置を使用する。

競技時間短縮のため、スターティング・マシンに自転車をセット、準備完了後 15 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

予選上位による決勝、決定戦は実施せず、記録をソートし順位決定する。

※詳細は、競技規則 P61 第 75 条による。

TR6 スプリント

予選 200m フライング・タイムトライアルは電子計時装置を使用する。

予選 200m フライング・タイムトライアルは 2 周 800m を走行するうちの最後の 200m を計測する。

スタートはブルーバンドより、前競技者が 1 周回通過後に次走選手がスタートする。

予選上位 8 名による 1/4 決勝からトーナメントを開始する。

予選 → 1/4 決勝 (1 回戦) → 1/2 決勝 → 3-4 位決定戦 / 決勝 / 5-8 位決定戦。 ※女子 1/2 決勝より
※詳細は、競技規則 P60 第 73 条、第 74 条による。

TR7 チーム・パーシュート

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から行う。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

電子計時装置を使用する。

競技時間短縮のため、スターティング・マシンに自転車をセッ、準備完了後 15 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセッ等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

予選上位による決勝、決定戦は実施せず、記録をソートし順位決定する。

※詳細は、競技規則 P62 第 76 条による。

TR8 チームスプリント

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から行う。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

電子計時装置を使用する。

競技時間短縮のため、スターティング・マシンに自転車をセッ、準備完了後 15 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセッ等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

予選上位による決勝、決定戦は実施せず、記録をソートし順位決定する。

※詳細は、競技規則 P67 第 80 条による。

TR9 ポイント・レース

少年 24km、成年 30km にて行う。ポイント周回は 5 周毎とする。今大会、予選は実施しない。

ニュートラゼーションは 3 周回 (1,300m 近い距離) とする。

ニュートラゼーションの復帰が最後の 1km 以内となり競技に戻れない時、または最終 5 周回以内の認められた事故のとき、所属していた集団の最後尾にフィニッシュしたと認定する。

最終ポイントは倍点 (10 点、6 点、4 点、2 点)

周回 ラップ：追いつき時：+ 20 点、追いつかれ時：- 20 点 (各集団を基準)

除外：周回遅れで、競走に支障がある時 (入賞の可能性がない等含む) はレースより除外する。

スタート位置は、スプリンタレーンにヘルメットキャップ奇数番号、走路外側にヘルメットキャップ偶数番号とする。1 番キャップ以外は先着順とし、ホルダーは同チームの監督・チームスタッフにて (不足する際は競技役員) 行う。

番号付きヘルメット・カバーを使用する。

※詳細は、競技規則 P65 第 78 条による。

TR10 ケイリン

少年：1 回戦 → 1 回戦敗者復活戦 → 2 回戦 → 順位決定戦

成年：1 回戦 → 順位決定戦

400m のトラック 4 周回で実施する。

スタートにおいて競技者はペーサーの直後で抽選によって決定された位置を取り、スタート後少なくとも最初の周はペーサーの後ろにつかなければならない。すみやかに自走しない際は、その競技者を除外し、再スタートする。

ペーサーはスプリンター・ラインの内側を走り、スタート時は 30 km/h、フィニッシュ 2.0 周前の測定線 (200m) を過ぎてトラックを離れるまでに、徐々に 50 km/h まで加速する。

一人または、複数の競技者が、ペーサーが中央線においてトラックを離れる前にペーサーの前輪前部分を追い抜いた場合、競技を停止し、失格とされる違反競技者を除外して再スタートとする。

競走中に全競技者が落車等事故の際は救済措置により再スタートとする。

スタート後半周以内の事故が発生したとき、再スタートとするが、半周以降の事故は再レースとはならない。事故の内容により制裁の対象となる。

コンタクトプレー等（第71条8項 順守違反）については、厳しい態度と裁定で対応する。

ホルダーについては、同チームの監督・チームスタッフにて（不足する際は競技役員）行う。

※詳細は、競技規則 P66 第79条による。

TR11 スクラッチ

少年：8km(20周回) 成年：10km(25周) 女子：6km(15周回) で実施する。

周回遅れでメイン集団に追付かれた競技者は除外とする。

先頭の競技者を基準とし、周回数が同一のとき最後のスプリント着順で順位を決定する。

ニュートラペーションは3周回（1,300m 近い距離）、最後の1kmは競技に戻ることは出来ない。

最後の1kmで競技に戻れないときは、所属していた集団の最後尾にフィニッシュと認定する。

スタート位置は、スプリンタレーンにヘルメットキャップ奇数番号、走路外側にヘルメットキャップ偶数番号とする。1番キャップ以外は先着順とし、ホルダーは同チームの監督・チームスタッフにて（不足する際は競技役員）行う。

番号付きヘルメット・カバーを使用する。

※詳細は、競技規則 P69 第82条による。

TR12 会場配置図



大会開催に伴う新型コロナウイルス感染防止対策について（お願い）

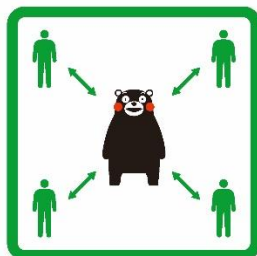
1 共通事項

- (1) 入場者が次に該当する場合は、入場をお断りします。
 - ① 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) マスクを持参する。（受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用）
- (3) うがい、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- (4) フィジカルディスタンスの確保（他の方との距離（できるだけ2m以上）を確保する）

2 受付及びサイン時
(1) 受付時に検温（非接触型検温器）を実施します。 (2) ロードの出走サインは、カテゴリー毎に分けて実施、また、トラックの召集の際に順番を待つ際は、前後 2 mの間隔を空けて待つようお願いいたします。
3 競技開始前
(1) スタートラインに並ぶよう指示があるまで間隔を空けて待機して下さい。 (2) スタート位置では、できるだけ隣の選手から 2 m以上離れて下さい。
4 フィニッシュ（競技終了）後
(1) 速やかに、うがい、洗顔、手洗い、手指消毒を行って下さい。 (2) 消毒後は、マスクを着用して下さい。
5 表彰式
(1) 全体を集合しては実施しません。それぞれの種目毎に 1～3 位の選手が集合した段階で表彰を始めます。 (2) 種目毎に順番に放送でお呼びします。
6 その他
(1) 上記の感染防止対策は、最低限のお願いです。 (2) 観客、選手、役員がそれぞれ感染防止対策、咳エチケット等を常に意識し徹底して行って下さい。 (3) 大会前の 2 週間は体温を測り、異常があった際は医療機関に相談し、指示を仰いで下さい。 (4) 大会終了後、2 週間以内に新型コロナ感染症と診断された場合は、事務局にご連絡下さい。

皆さん一人ひとりの、感染症予防と感染拡大防止の取り組みにより、今後のイベントも継続します。

自分が感染していなくても、もしかしたら、感染させるかも知れないとの意識を常に持ち、出来る限りの対策をよろしく願います。



くっつかないモン
#KeepDistance



手を洗うモン
#WashHands



換気をするモン
#OpenWindow

©2010 熊本県くまモン



<競輪補助事業>

この事業は競輪の補助を受けて開催します。

<https://www.jka-cycle.jp>



